

平成27年度

学校評価特集号

天童市立干布小学校

平成28年2月17日

TEL 654-2307

FAX 654-2292

アンケートへのご協力ありがとうございました

日頃から本校の教育活動について、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。干布小学校では、教育目標「心豊かにたくましく伸びていく子ども」を掲げ、4つの経営の重点に計11項目の具体策を設定し、日々の教育実践に努めてまいりました。

ご協力いただいたアンケートを分析・考察した結果、学校の運営の仕方、教育の質の向上、児童の健全育成に向けて更に努力すべき点が明らかになりました。保護者の皆様から頂戴したアンケートの結果を大切に、その中から十分達成しているという成果は更に伸ばし、課題は具体的に対策を立てて改善していきたいと考えております。また、学校と家庭そして地域との連携を十分図りながら来年度の学校づくりに邁進していきたいと思っております。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年度学校経営の重点と具体策

- 1 自ら学び、自ら考える子ども
 - ・課題を明確にした考え続ける授業づくり
 - ・生活や行事に生きて働く関連性をもたせた学習
- 2 思いやりをもち、つながりを深める子ども
 - ・生徒指導の充実
 - ・特別支援教育の充実
 - ・道徳教育の充実
- 3 生命を大切にする子ども
 - ・健康教育の充実
 - ・安全教育の充実
 - ・読書活動の推進
- 4 ふるさとを愛する子ども
 - ・保護者との連携
 - ・地域との連携
 - ・地域教材による単元開発

研究テーマ

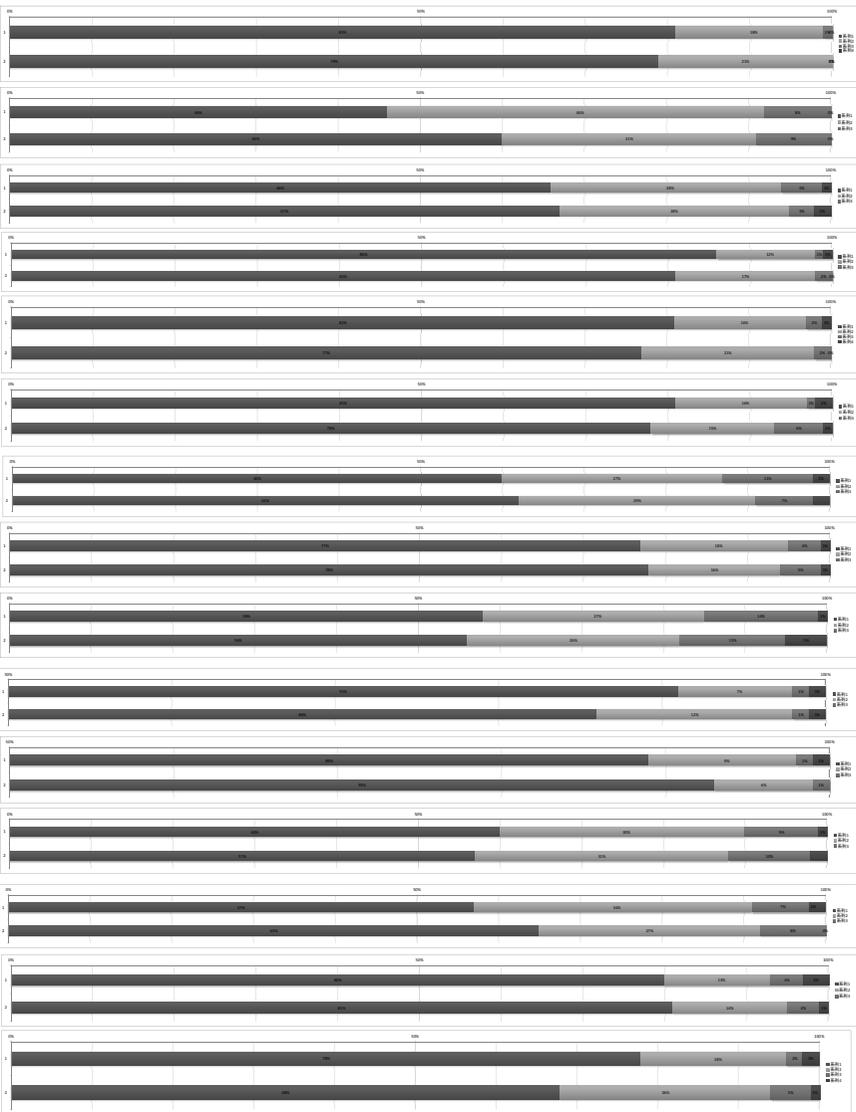
『追究する子ども 追究するクラス』（8年次）
今年度の重点 ～ 子どもが考え続ける授業 ～

教育活動の
キーワード

挑 戦 思いやり

干布小 児童アンケート 全体集計結果 
 上段27年6月実施 下段 27年12月実施

No.	項目	よくあてはまる	むしろあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
		79%	21%	0%	0%
1(1)	友達の考えをよく聞いて、自分の考えを発表している。	46%	46%	8%	0%
		60%	31%	9%	0%
1(2)	授業で学んだことを他の学習や生活に生かしている。	66%	28%	5%	1%
		67%	28%	3%	2%
2(1)	先生は、ぼく(わたし)のことをよくわかってきている。	86%	12%	1%	1%
		81%	17%	2%	0%
2(1)	児童会や学級での活動で、自分たちで考えためあてに向かって活動を工夫している。	81%	16%	2%	1%
		77%	21%	2%	0%
2(2)	友達と仲良くしながら、楽しく学校生活を送っている。	81%	16%	1%	2%
		78%	15%	6%	1%
2(3)	道徳の時間に、自分の生活とくらべて考えている。	60%	27%	11%	2%
		62%	29%	7%	2%
3(1)	自分のめあてをもって、進んで運動に取り組んでいる。	77%	18%	4%	1%
		78%	16%	5%	1%
3(1)	早寝(夜10時まで)早起き(朝6時半前)ができています。	58%	27%	14%	1%
		56%	26%	13%	5%
3(1)	学級の人や先生、地域の方に進んであいさつしている。	91%	7%	1%	1%
		86%	12%	1%	1%
3(2)	登校、下校のとき、交通ルールを守って歩いている。	89%	9%	1%	1%
		93%	6%	1%	0%
3(3)	本をたくさん借りて読んでいる。	60%	30%	9%	1%
		57%	31%	10%	2%
4(2)	地域(干布地区・天童市・山形県)での体験活動をするときに、社会科や理科、国語で学習してことを生かしている。(上学年回答)	57%	34%	7%	2%
		65%	27%	8%	0%
4(2)	進んで地域の行事や活動に参加している。	80%	13%	4%	3%
		81%	14%	4%	1%
4(3)	総合的な学習の時間や教科での体験活動のあとに、自分の考えをしっかりと書いている。	78%	18%	2%	2%
		68%	26%	5%	1%



全学年のアンケート集計（人数）平27. 12月実施分

◎よくあてはまる ○すこしあてはまる △あまりあてはまらない ▲まったくあてはまらない

	質 問 内 容	◎	○	△	▲
1(1)	学習課題がわかり、自分で考えて解決しようと努力している。	102	27	0	0
1(1)	友達の考えをよく聞いて、自分の考えを発表している。	77	40	12	0
1(2)	授業で学んだことを他の学習や生活に生かしている。	87	36	4	2
2(1)	先生は、ぼく(わたし)のことをよくわかってきている。	105	22	2	0
2(1)	児童会や学級での活動で、自分たちで考えためあてに向かって活動を工夫している。	100	27	2	0
2(2)	友達と仲良くしながら、楽しく学校生活を送っている。	101	19	8	1
2(3)	道徳の時間に、自分の生活とくらべて考えている。	80	37	9	2
3(1)	自分のめあてをもって、進んで運動に取り組んでいる。	100	21	7	1
3(1)	早寝（夜10時まで）早起き（朝6時半前）ができています。	72	33	17	7
3(1)	学級の人や先生、地域の方に進んであいさつしている。	111	16	1	1
3(2)	登校、下校のとき、交通ルールを守って歩いている。	120	8	1	0
3(3)	本をたくさん借りて読んでいる。	74	40	13	2
4(2)	地域（干布地区・天童市・山形県）での体験活動をするときに、社会科や理科、国語で学習したことを生かしている。（上学年回	38	16	5	0
4(2)	進んで地域の行事や活動に参加している。	105	18	5	1
4(3)	総合的学習や教科での体験活動のあとに、自分の考えをしっかりと書いている。	89	33	6	1

6月実施段階での成果と課題

（成果）

○どの項目についても、◎と○の合計%が80%を超えており、本校学校教育の重点に対する取組の成果が表れている。

○2(1)「先生は自分のことを理解してくれている」や2(2)「友達と仲良くしながら楽しく学校生活を送っている。」などの対教師・対友人関係が良好であり、それが比較的落ち着いた学校生活に結び付いている。

（課題）

※1(1)「友達の考えをよく聞いて、自分の考えを発表している。」については、発表力の向上を課題としてとらえたい。6教振のキーワードでもある「つなぐ」という意識を、授業で育てる必要がある。

※3(1)「早寝早起き」や3(3)「読書活動」については、家庭での時間の使い方を見直せるように働きかけていく。

12月に実施して(6月と比較して)

【成果】

◎1(1)「友達の考えをよく聞いて、自分の考えを発表している。」で「すこしあてはまる」から「よくあてはまる」に約15%の児童がよい方に評価している。これは、授業研究会で培った交流の仕方が普段の学習にも生きていられると思われる。（「あまりあてはまらない」が12名いるので、引き続き一人一人に目を配った授業に心がける。）

◎「登校、下校のとき、交通ルールを守って歩いている。」は、9割を超える児童が「よくあてはまる」と付けている。登下校中の事故やけが、トラブルがとて少ないことから、安全に対する意識の高さがうかがえる。

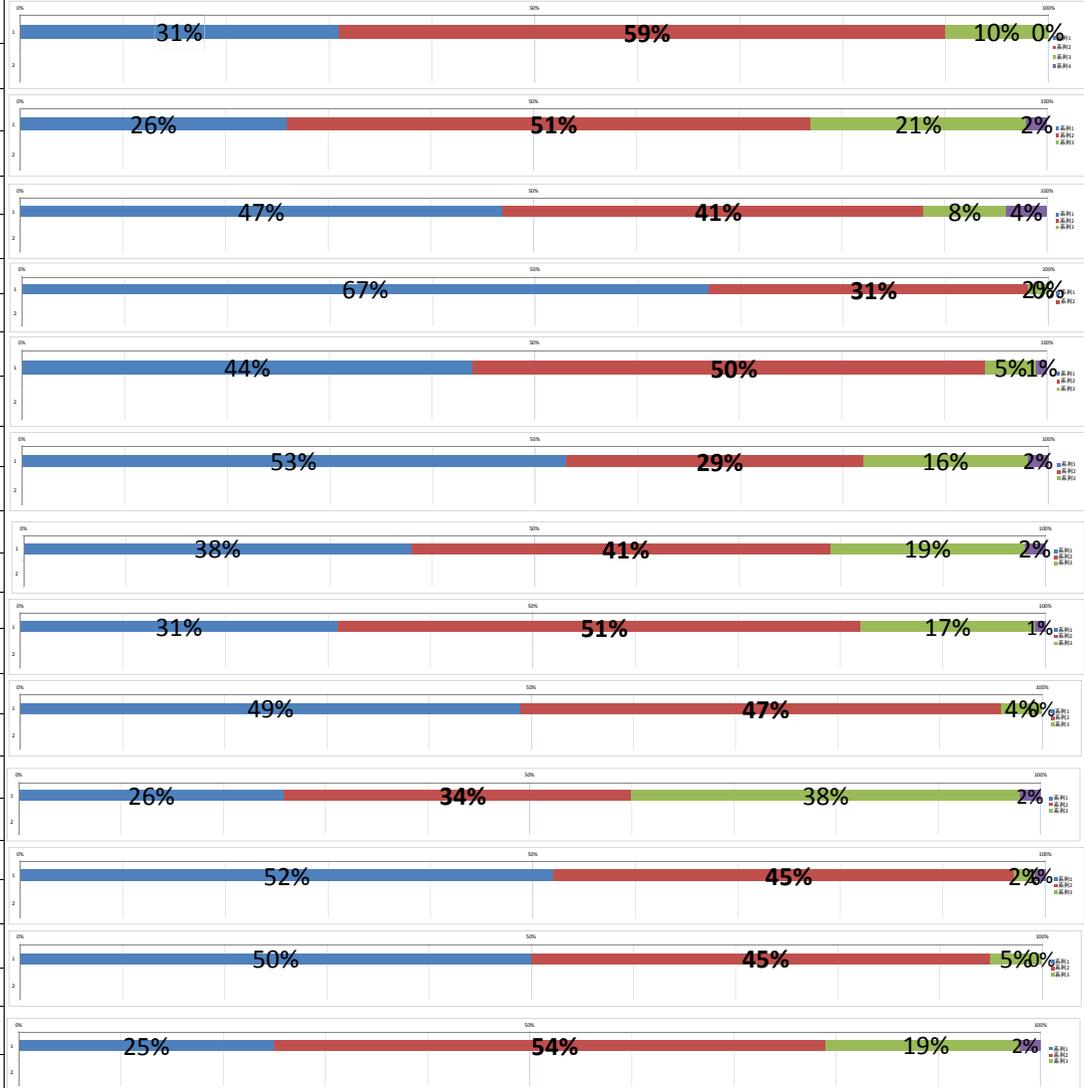
【課題】

※早寝早起きにもっと敏感に感じるようになってほしい。おそらく「早寝」ができていないため、この結果になっていると思える。家庭での生活リズムについて、連携しながら工夫していく必要がある。

※4(3)「体験活動のあとに自分の考えを書く」ことは、6教振のいのちの教育の重点（書くことで心に響かせること）にも結び付くので、ぜひ重視していきたい。

干布小 27年度保護者アンケート 集計結果

No.	項目	よくあてはまる	すこしあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
1(1)	お子さんは、学校の勉強の内容が分かっていると思いますか。	31%	59%	10%	0%
1(2)	お子さんは、家庭学習のとき、自分で学習を進めることができますか。	26%	51%	21%	2%
2(1)	お子さんのことで心配な時や困ったことがあった時、担任や学校にいつでも相談していますか。	47%	41%	8%	4%
2(2)	お子さんは、友達と仲良くしながら楽しく学校生活を送っていますか。	67%	31%	2%	0%
2(3)	お子さんは、道徳的な行動が身に付いていますか。(思いやり、ルールを守るなど)	44%	50%	5%	1%
3(1)	お子さんは、進んで運動したり、体を動かして遊んだりしていますか。	53%	29%	16%	2%
3(1)	お子さんは、早寝(夜10時まで)早起き(朝6時半前)朝ご飯の習慣や、節度あるゲーム遊びの習慣などが身に付いていますか。	38%	41%	19%	2%
3(1)	お子さんは、地域の人や、家族、友達に自分からあいさつをしていますか。	31%	51%	17%	1%
3(2)	お子さんは、自転車の乗り方や歩行の仕方などの交通ルールを守って安全に生活していますか。	49%	47%	4%	0%
3(3)	お子さんは、家庭でも読書に親しみ、本をたくさん読んでいますか。	26%	34%	38%	2%
4(1)	学校だより、学年だより、ホームページなどをもとに、学校の教育活動のようすがより伝わっていますか。	52%	45%	2%	1%
4(2)	お子さんは、進んで地域の行事や活動に参加していますか。	50%	45%	5%	0%
4(3)	家庭で、学校の生活科(1・2年)、総合的学習(3～6年)の学習のことが話題になることがありますか。	25%	54%	19%	2%



【保護者のみなさまからの主な意見や要望】

- 授業の内容がよく分かっていないところは、休み時間やあいている時間などに教えていただきたいです。
- 学習内容を定着するための自主学習の仕方の指導があるとよい。
- 授業では、分かった子どもがどしどし友達に教えるような「学び合い」も有効と思う。
- 学年が上がるにつれ、難易度が高くなるほど、クラスみんなが共に理解を深められるような授業であってほしいと思います。
- 子どもたちは興味をそそられる授業のときは内容も身に付くはずなので、子どもたちが好奇心もてる、視覚的に工夫した指導をお願いしたいと思います。
- 学力にも差はあるので、宿題の量のある程度子どもが選択したり、自分でできる量を自分が判断したりするようにしてはどうか。

【以上、授業や学習の仕方、宿題・自主学習などについてたくさんの意見をいただきました。これからの改善材料にさせていただきます。】

- 子どものトラブルがあった場合は、早い対応をしていただけると仲直りもしやすくなるのでありがたいです。**【そのとおりです。十分配慮してまいります。】**
- 自分から学校のことを話さないのので、どうやって話を引き出すか工夫することで、親も会話力がつくようです。**【学校と家庭とでさらに情報交換がすすめられるようにたより等を工夫してまいります。】**
- ホームページ楽しみです。さらにいろんな場面を知りたいです。緊急メールの文字が小さすぎて読みづらいです。**【調べたところ、スマホの方の文字が小さかったことが分かりました。1月から両方とも大きくできるようにしています。】**

全体的な考察

- 今年度は、『挑戦 思いやり』を教育活動のキーワードにして学校経営をしてきました。
 - ◎自ら学び、自ら考える子ども
 - 友達の考えをよく聞いて、自分の考えを発表する「学び合い」ができるようになっていたことが今年度の大きな成果です。さらに、学んだことを生活に生かせるようにしたいです。
 - なぜ家庭学習が必要かその意義を子どもたちに理解させるような取組が必要と思います。学年に応じた家庭学習の必要性和約束を考える機会をもつようにしていきたいです。
 - ◎思いやりをもち、つながりを深める子ども
 - アンケート結果から、対教師・対友人関係がおおむねできていることが分かります。各学級での、親切にしてもらった経験を発表し合ったり、友達のよさを認め合ったりするなど、さまざまな取組が功を奏しているように思います。
 - 友人関係はほぼ良好とはいえ、いじめに結び付くような行為に対しては毅然として対応していかなければならないことを教職員一同再確認しているところです。
 - ◎生命を大切に作る子ども
 - このアンケートとともに、年4回取り組んでいる「さわやか週間」での生活の振り返り等からも、「早寝・早起き・朝ご飯」のうち、「早寝」がよくない結果が出ていました。家庭での読書時間の確保も含めて、家庭に帰ってからの生活の見直しを学級活動等の時間を使って行う必要があります。
 - 「挨拶」については、児童アンケート結果に比べ、保護者アンケート結果であまりよくない結果となりました。学校では教育活動の一つとして挨拶が位置付けられているものの、地域とつながる挨拶運動の推進をさらに進めていく必要があります。
 - ◎ふるさとを愛する子ども
 - 地域の中で生きていることを実感する上で大切にしたいのが、生活科や総合的な学習の時間での地域学習です。地域とのつながりを密にし、地域の一員であることを自覚できるような活動を推進していきたいです。
 - さらに、各種たよりやホームページを利用して学校の教育活動や情報を発信していきたいです。

学校評議員会でのご意見（2月8日開催）

- 授業の中で、子どもが自ら学び、考えたことを自分の言葉でしっかり伝え合えるようにしていることがよく分かりました。この力は、これからの生活でもうんと役立つと思うので、大切にしてほしいです。
- 学校は、子どもとともに保護者も育つところです。さまざまな人との関わりの中で、親として成長していくのだと思います。ですから、学校はたくさんの情報を保護者に提供してほしいし、学校・家庭（保護者）・地域の三者が連携することも大切だと考えます。
- 11月に調査したいじめの件数が14件もあり、思ったより多いことに驚きました。でも、軽微な事案も見逃さないようにカウントしたためであることと、指導した結果、1月末で2件まで減らすことができたことを聞いて安心しました。学校での取組とともに、公民館のさまざまな事業を活用し、地域で人同士のよりよい関わり方を教えることもいじめ防止対策につながっていくと思います。

来年度に向けて

- 1 教育活動のキーワードを「つなぐ・広げる・考える」とし、物事に対して常に追究していく子どもの育成を目指します。
 - 教育の内容をつなぎ、人同士の関わりの中でそれを広げることで、子どもたちが主体的に考えられるようにしていきます。
 - 教師集団も、互いに協働し学び合いながら教育活動を推進していきます。
- 2 具体的には以下のようなことを検討しています。
 - 子どもの学びに連続性がもてるように、言語活動をさらに充実したり、可能な限り年間の行事と各教科の学習内容との関連を図ったりしていきます。
 - 温かい子ども理解に基づく学級経営や、人間理解を深められる道徳の授業づくりをしていきます。
 - 読書活動や健康教育をさらに豊かなものにしていきます。